



## 「第1回日中若手職人交流事業」に伴う高岡への視察について

本年、日中両国にとって記念すべき日中平和友好条約締結40周年を迎えるにあたり、中国中小企業商業協会（※別紙）と呉曉波チャンネル（※別紙）が、今月11日から17日にかけて「第1回日中若手職人交流事業」を日本で開催します。日中両国の若手職人の「相互交流と相互理解の促進、協力、交流と成功の実現」がテーマになっており、中国から約200名の若手職人等が東京でフォーラムと展示、交流、視察に参加します。

その中で、高岡市が、国内3か所（他 東京、京都・大阪）の視察先のひとつとして選ばれ、プロデューサーの呉曉波氏をはじめ、約200名の参加者の大半である約160名の方々が東京でのフォーラムの後に来高します。

### ○本事業概要

【プロデュース】 呉曉波（経済作家）

【主催】 中国中小商業企業協会、呉曉波チャンネル

【日程・内容】 平成30年10月11日（木）～17日（水）

- ・日中若手職人交流フォーラム（10月13日（土）東京）
- ・＜中国匠、日本へ＞展示会（10月11日（木）～12日（金）東京）
- ・国内視察と日中若手職人交流（東京、京都・大阪、高岡で視察・交流）

＜高岡市での事業実施内容＞

### ○高岡市が視察先に選定された理由

本年2月、中国人向け観光雑誌「旅日」(<https://visitasia.co.jp/ryonichi/>)の編集長が本市主催のプレスツアーに参加され、高岡のものづくりに関する特集を組まれました。それが今回の関係者の目に留まったことが、今回にこの選定に繋がっています。

### ○視察について

【日程】 平成30年10月15日（月）～16日（火）

【視察先（予定）】 ※中国側が選定

高岡御車山会館、高岡地域地場産業センター、能作、四津川製作所、シマタニ昇龍工房、モメンタムファクトリーOrii、武蔵川工房、漆器くにもと、高田製作所、市デザイン・工芸センター、県総合デザインセンター

【参加者】 呉曉波氏ほか中国の著名ジャーナリスト・大手メディア関係者 30名程度  
中国の若手職人・プロダクトデザイナー・企業経営者等 130名程度

※視察先へは複数グループに分かれて行動

### ○ディスカッション及び交流交歓会について

【日程】 平成30年10月15日（月）18:00～

【場所】 ホテルニューオータニ高岡

【内容】 ①ディスカッション（日中のものづくり関係者による討議）

②交流交歓会

【参加者】 呉曉波氏ほか中国の著名ジャーナリスト・大手メディア関係者 30名程度  
中国の若手職人・プロダクトデザイナー・企業経営者等 130名程度

高岡若手職人（伝統産業青年会他）、市長、議長、商工会議所関係者等

50名程度

### <中国中小商業企業協会について>

中国国務院の承認を得て1992年に設立された旧「中国集団商業協会」が、正式に「中国中小商業企業協会」に改称されました。この協会は国務省の国家資産監督管理委員会が率いており、商務省と工信部に指導されており、独立した法人地位を持ち、全国的なクロスインダストリー、クロスオーナーシップの非営利団体です。

中国中小商業企業協会は、中小企業向けの商品製造業、貿易流通業、商業サービス業で構成され、民事省に登録されている唯一の業界団体です。現在、会員数は、間接的に何十万社の中小企業にサービスを提供しています。基本的機能としては、サービス、権利、自己規律、協調機能を備えており、政府と企業の橋渡しとなり、関係する政府部門、加盟企業から高く評価されています。

### <呉曉波氏プロフィール>



## 呉曉波 ゴギョウハ 経済ジャーナリスト

1968年生まれ、上海復旦大学卒、新華社で13年間記者を務める。ハーバード大学訪問学者。2004年に金融出版社を設立し、100以上の中国有名企業の伝記を出版。現在、複合メディア企業「呉曉波チャンネル」の会長を務めています。

有名な中国の金融作家であり、企業の歴史に関する研究で知られています。彼の作品の中でも、《大敗局》(2001年)と《激蕩三十年》(2008年)の売上部数は各200万部を超え、中国では企業史研究の作品の中でベストセラーとなっています。彼の作品は、二度《アジアウィークリー》のトップ10作品に選出されました。

同時に、彼は中国最大フォロワー数を持つ個人金融メディア設立者であり、WeChatの公式アカウント「呉曉波チャンネル」の会員数は300万人、Weiboのフォロワーは400万人を超えています。2015年に沖縄で行われた年末総会後、中国に戻る飛行機の中で、中国における今後の製造業の在り方という趣旨の《日本に行き、ウォシュレットを買う》というオンラインメディア掲載記事を執筆し、その後この記事の影響を受け、中国人が日本で炊飯器やウォシュレット等の電化製品を爆買いするという一大ムーブメントを巻き起こした張本人でもあります。

2001年 《大敗局》 “中国のビジネスに影響する二十冊の一冊と評価されています。

2007年 《大敗局 2》、《激蕩三十年》(上)

2008年 《激蕩三十年》(下)

2018年 《激蕩十年, 水大鱼大》

2008年から2018年までの中国企業改革の歴史を記録しています。